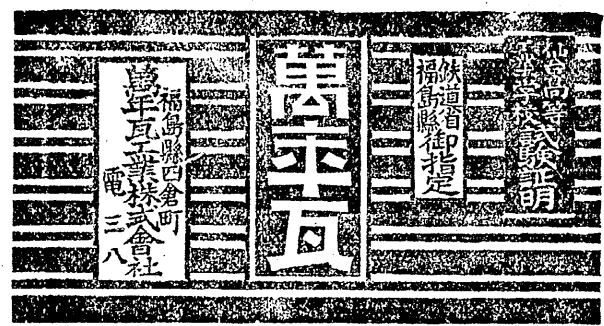


會期 大正十五年八月十日
 同年八月十二日マデ
會場 平町南町公會堂
無料 觀覽
メイン トル法展覽會
附屋外活動寫眞
 主催 日本度量衡協會福島支部石城部會
 福島縣計量器組合石城支會
 後援 警察署
 平町 役場



染馴たてに畫映のマネキ竹松。ネキ帝。活天。活國
 たしまり参てつ歸立へ台舞りよ畫映
 すま上申ひ願お負最御き厚様同畫映
澤村四郎五郎
 當る八月十二兩日間限り
 毎夕午後四時合開場
 初日狂言
 九度山中
 お目見榮だまり 一幕
 仁三日月次郎吉 九場
 桂田阿彌笠氏脚色
 大石山科の閑居 一場
 女奴の小萬 三場
 御觀覽料(特等)一圓五十錢(一等)一圓廿錢(二等)七十錢(小人)卅錢



定一部金貳錢
 廣五號十二
 料字詰一
 五十五錢
 日刊
 日曜大祭
 福島縣石城郡平町長橋町三五
 發行所 常盤毎日新聞社
 電話六三〇番

發行兼編輯人 川崎文治
 本社下町番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所

刊夕日十月八

御待ちかねの
八月の面白
レコード
 澤山揃ひました
三幸堂
 平二丁目

磐城共濟院病
 院長醫學博士助川喜四郎
 內科 醫學博士藤井秀旭
 小兒科 醫學博士相澤信一
 婦科 醫學博士大瀧潤
 外科 醫學博士池田健造
 齒科 醫學博士河合德吉
 眼科 醫學博士松本寅雄
 耳鼻喉科 醫學博士島本松雄
 皮膚科 醫學博士本島松雄
 泌尿科 醫學博士本島松雄
 藥劑科 醫學博士本島松雄
 物理療法科 醫學博士本島松雄
 平町役所前電話六四一

釀造元
松吉屋本店
 電話二四一番
 石城郡平窪村

三三三
 現金月賦販賣
 平町ミシン會社支店
 平町紺屋町(縣社通り)
社員採用
 ハガキ申込

美味評判 **イウキ食堂**
 オの部電話四六〇番

六六四番
 何卒御利用の程願上候
エビスヤ自轉車店
 平町南町

衛生親玉 **湯接待**
 御通行の節はごなれども
 澤山めしあがつてくださ
 見町
喜多林之助
 岩石材店

召し上れ
 飛切り美味しい
 マツモトの
ヤトモツマ
 一本拾錢
 番四一二話電

當年は忘父の新盆會に相當仕候へ共
 時節柄の事にて提灯等の御贈與品御
 辭退可申上此段惡しからず御諒承願
 上候
 平町田町驛前
伊東一

開院廣告
齒科一般
鈴木醫院
 齒科醫 鈴木健太郎
 平町田町驛前大通り

お盆提灯製作
 戒名入迅速安價
 紋入技術優秀
 流行珍型
 種々入荷
岐阜提燈販賣
 平町四丁目
ヤノガス店

常盤論壇
 普選を控へて
 此醜態

政界通人
 承前
 今後の政局が如何に悪化する
 とも恐らく現内閣は來議
 會まで乗り切り彌々議會
 に臨むや議會解散を決定す
 るのではなからうかと想れ
 るが併し政界のことは往々
 にして意表の外に出ること
 が多いのであるから道理だ
 けで豫め判断することは難
 かしい其れにつけても近來
 の政府黨並に反對黨の態度
 は依然として第五十一議會
 の醜態を其の儘に踏襲せる

嫌があつて甚だ不愉快に感
 せられる即ち肝心の主義政
 策の争ひは殆ど顧みられず
 して徒らに政黨の面目を汚
 損して政黨に對する國民の
 信任を益々失墜せしめ政黨
 と國民との間を彌々離隔す
 るが如きことにのみ専ら力
 を注いでゐるといふ風ある
 は如何にも苦々しく思はれ
 る斯くては折角普選法によ
 つて總選舉が行はれても國
 民は何れの政黨を擇ぶべき
 か其の捨捨に迷はざるを得
 なくなるであらうか其の結
 果は我が議會政治の上に決
 して歡ぶべきものを齎さぬ
 であらう即ち政黨は更生の
 精神を以て正々堂々と政策

問題を以て互に優劣を争つ
 てこそ眞に憲政の發達が所
 期し得らるるのである(終)

活版印刷の
 御用命を御
 願致します
明鮮美優
嚙可速敏
 常盤毎日印刷所
 平町長橋三五
 (電話三六〇番)

愈よ本日から

メートル展開かる

石城メートル法展覧會は、八日午後八時二十分頃、鳴り響く煙火を合圖に開會された。先づ會場の元郡會議事室前には平町水道課のメートル池が

新設されて盛んに噴水し水道の現状を一目瞭然たらしめ會場入口の大一屋出品の茶の含有量をメートル化した陳列を皮切りに藤田女學校の和洋衣類、日本石油の石油採取現場模型、釜屋の元録時代の量器、阿部源の二見ヶ浦及び燈台の考案、山崎合名會社の

計量器講演

増田檢定所長

メートル法展覧會の開會第一日たる今日午後二時より藤田裁縫女學校に於て本縣度量衡檢定所長増田義夫氏の講演會を開會すると

出席多數

二百名以上

明十一日の縣下計量器商の總會には縣下各地より出席者二百餘名と註せられてゐるが郡外の参加申込は

福島市、若松市各五、郡山市七、伊達六、安達一〇、岩瀬四、西白河四、石川一、中村八、耶麻二、河沼一、相馬三、双葉六

小鐵道

運轉系統各案

平小鐵道の敷設に關し地方産業の開發を主眼とせる片濱廻り即ち

現在の平驛を基點とし鎌田遊廓西裏田圃を横ぎり飯野村南白土を経て夏井村菅波の一部を貫通し飯

野村上高久に出て東進し

野村上高久村に入り豊間江名を経て小名濱に至る

ものと半町の水害豫防及工費軽減より割出されたる草野迂廻即ち

草野より夏井高久を経て

小名濱に至るものと其の豫定線に大体二様の腹案を有するもの、如くであるが更に以上の外平町より鹿島村及び玉川村大字小名の一部を経て小名濱に至る

鹿島村經由案と

曆では秋が来たが

暑さは一層烈しい

豊作は先づ疑ひなし

小名濱測候所の觀測

立秋——よく照つた土用は明け八月午前四時四十五分から秋がやつて来たのである、心なしか太陽の熱は遠慮勝のやうだ、北寄りの涼風ソヨ／＼と吹いてゐる、是からは

朝夕は 日中の残暑

を拂ふ涼風が訪れて日一日と涼しいやうになつて行くところがそれは曆の上だけのことで小名濱測候所では



卵の見分け方

卵を見分けるには電燈なりランプなりに透してみるのが一番です。その場合卵の頭(大きくつた方)にスキが見えますがこれが大きい

所得税が

約一割減少

昨日閉會した

最終の調査會

平稅務省管內第三種所得調査委員會は去月二十日開會青沼、永山、谷口、平松、赤津の五調査委員は連日の暑熱と闘つて調査を續行昨九日を以て大體の調査を終了集計の結果等は兩三日中に於て判明する筈であると云ふが本年度の成績は一般利益配當の減少免稅點の引上げ及個人經營を會社組織に改めたるものある等の事由により前年度の稅額十三萬四千圓人員三千八十二人に比し約一割以上の減少と見られてゐる

大名題來平

澤村大一座

國活、天活、帝キネ、松竹キネマ等の各映畫にて馴染の深い澤村四郎五郎の大一座は明十一日及び十二日の兩日に限り平劇場にて開演する事となつたが東京歌舞伎の大名題の事とて素晴しい前幕氣であるから開場四時前には既に満員大入となつてゐる

ん。ツヤでいへばカサ／＼として光澤のないもの程新しいので、表面がテカ／＼と光るのは手づれ磨さつて生じたものですから余程古いものでも、地玉が最も安全かといへば一概にさうだといはれません前記の方法で見分ければ大てい間違はありませぬ

小兒の病氣流行

今の子供の一番自由の天地一枚でも多く着物をかなくをりすて、ジャンプと水の中に誘惑され易いこの弱味をチャンと病魔は心得て居る、この頃石城地方の小兒らは苦しい疫痢や呼吸器病になぎ倒されてゐる、この際

子を持つ親は斯う注意してほしいと小兒病に就て詳しく市原警病院院長は語る「數日來急に寒くなつたと思ふと今日あたりからまた恐ろしく暑くなつた

各小兒科

關係醫院の大部分の患者がこれだ、急激な恐ろしい傳染病のことは誰でも知る通りだがどうも油断がしやすい日中暑いの夕立が來たりした場合寝冷などから起りやすいがよく果物豆類こうこ類を食へたから起つたと云はれるがこれは誘因に過ぎず急激な過食や

丸のみ等 其他の色々の原因も合致して急に起りやすい子供がぐつたりしたり熱が急發したり物を吐くとすべて注意すべきで手

當は直瀉腸し、下痢(ヒマシ油がいくをかけるがよい其他最近の氣温の急變で小兒が大分呼吸器病にかゝるものが多く偏挑線をいためるものが多い

夏は一寸 それが氣がつきにくいから注意を要するそれからぼつ／＼見ねるのは乳兒脚氣で之は乳兒に直接原因はなく母親にある夏、は何うしてもあつさりした物を食べ易くツイタミンが不足する、すると親は別段脚氣がなくてもその乳がのんだ子供は

忽ち脚氣 を起して來る、之れには親がいつも注意して適度の脂肪分をと

德用醬油の 宣傳賣出し

無類の特價

平町土橋山崎合名會社にては去る八日より來る十九日迄德用醬油の宣傳賣出しを試みる事になつたが美味と經濟で既に定評のある九升樽詰が三圓十錢、一升樽詰が五十五錢の大特價を以て提供しつゝあるから此際に出し前記の井戸に飛び込んだものである

兎の耳

十五萬圓貫つて狂死 十五萬圓もらつたため氣が狂つて自段した老人がある、大阪府南河内郡柏原町字市村牛田榮藏(五)は八日午後九時頃自宅附近の野井戸の中で溺してゐるのを通行人が發見、同人は元來毛筆製造職工でごく貧しい生活をしてゐたがこの頃大阪市内の遠縁にあたる人が突然死亡し相續人も身寄りもないのでその遺産十五萬圓は思ひがけなくも榮藏の所有になつたので榮藏はびつくりして氣が狂ひ五日家出し前記の井戸に飛び込んだものである